

関西地区



吉野英知

関西地区代表

中津壮人

副代表

●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・天満橋ビブリオバトル
- ・奈良県立図書情報館
- ・コーヒーショップ凡句来
- ・関西学院大学
- ・立命館大学
- ・英語でビブリオバトル
- ・橿原ビブリオバトル部
- ・三洋堂書店橿原神宮店
- ・生駒ビブリオ倶楽部
- ・ビブリオバトルふしみ
- ・夜カツ
- ・堺図書館ビブリオバトル倶楽部
- ・伊丹市立図書館ことば蔵ビブリオバトル部
- ・ビブリオバトル in にしのみや
- ・ビブリオバトル in なわて
- ・大和郡山ビブリオ
- ・ビブリオバトル in 同志社

活動報告

吉野 英知 (関西地区)

yoshinohidetomo@gmail.com



2014 年度活動内容

1. 天満橋ビブリオバトル (主宰) の運営

- 毎月第3水曜 夜 19:30~21:00 に開催、2015年3月開催分が第53回。中津壮人委員、池内祥見委員とともに主宰。
- 大阪市内の各会場で社会人を中心として毎回25名程度がコンスタントに参加。夜開催、会費制、会場を転々とする、事前に発表者の確保を行わないなど、特徴的な運営。
(*14年は大阪府立中央公会堂、グランフロント大阪ナレッジキャピタル、紀伊国屋書店グランフロント大阪店等で開催)
- 関西地区で活動する人たちが集まるハブとしての機能も担う。

2. 普及にかかる主たる講演・執筆活動

- 川西市教育委員会 講演 (2014/8/29)
- 大阪府立図書館 司書セミナー 講演 (2014/10/29)
- 国立国会図書館 カレントアウェアネス CA1830 新しい本の楽しみ方「ビブリオバトル」の多方面への展開動向 / <http://current.ndl.go.jp/ca1830>
- 計測自動制御学会 先端融合システムズアプローチ創出委員会 不利益システム研究会 (第11回)「知的書評合戦ビブリオバトル・不利益の流れを組む一大プロジェクト」

3. 大規模なビブリオバトルイベントの支援

- ひょうご子ども読書活動推進フォーラム (2014/10~12) 全6回
- 全国大学ビブリオバトル2014 (2014/12/14)

以上

活動報告書

～ビブリオバトルの魅力伝えるメディア活用の模索7年を振り返って～



氏名：中津 壮人
活動エリア：関西地区
連絡先：nakatsutakehito@gmail.com
活動先：■ 天満橋ビブリオバトル (2010年11月より開催)
<https://www.facebook.com/bibliobattle>
■ 図書館情報館ビブリオバトル (2011年3月より開催)
<http://www.library.pref.nara.jp/event>

2014 REPORT

2014年の取り組み

現在、私は主に大阪市内でビブリオバトルを開催している「天満橋ビブリオバトル」と奈良県立図書館でのビブリオバトルを開催している「図書館情報館ビブリオバトル部」へ関わっています。それぞれ、毎月1回のペースでビブリオバトルを開催しており、地域の人を本で結ぶということをやっています。2014年度はこれら2つの開催継続を中心に活動してきました。2015年1月時点でどちらも50回を超える開催となりました。



#42 (4月)の様子
(まちライブラリー @大阪府立大学)



#43 (5月)の様子
(北浜 Links ギャラリーにて)



#44 (6月)の様子
(グランフロント大阪 ナレッジサロンにて)

「天満橋ビブリオバトルの会場履歴」



#46 (8月)の様子
(谷町空庭にて)



#49 (11月)の様子
(紀伊国屋書店グランフロント大阪店)



図書館ビブリオバトルのフライヤー1年分（1月～3月は中津作成）

2014年の活動の特徴として、天満橋ビブリオバトルでは場所と転々と移しながら開催されたこと（前ページ図参照）と、天満橋ビブリオバトルの「招待状」を用意し広報に活用しました。図書館ビブリオバトルでは、3ヶ月まとめて計画を立て広報を実施していた（上図）ことが2014年の特徴です（広報面では奈良県立図書館の大きなサポートがありました）。

2015年は引き続き、場を継続していきますが、そこでのつながりの中からビブリオバトル以外の動きに発展していければよいと思います。

HISTORY

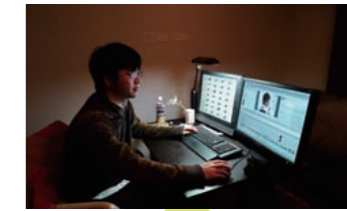
ビブリオバトル普及へのこれまでの関わり

普及委員がこういった関わり方をしてきたかを共有するのも、この活動報告の意図だと思いましたが、昔話も書かせていただきます。

そもそもの私のビブリオバトル普及への関わりは、大阪大学在籍時にサイエンスルーという学生団体で活動する中でビブリオバトルに出会ったことが始まりです。サイエンスルーは科学コミュニケーションにまつわる活動をしている団体で「あなたとわたしの問題意識を共有し、育てる」という理念でもって、様々な学問バックグラウンドを持つ学生により運営されていました。そんな「分野を超える」という団体にとって、様々な本や人と出会うことができるビブリオバトルは非常に面白い仕組みとして映っていたなと思います。1度メンバーで集まってビブリオバトルをやった時、これはすごくいい、と感じました。それが2009年6月でした。以後ビブリオバトルに関わっていくこととなります。



サイエンスルーでの第1回開催



ビブリオバトル動画を編集していた



絵をつくることから始めた
紹介動画

その後、ビブリオバトル考案者の谷口さんらとサイエンスルーとして接点を持つことになり、普及委員会の発足にも関わるようになっていきました。そして、初期の普及委員会に参加する中で、私個人はビブリオバトル参加レベルを表す「ビブリオバトルバッジ」や「ビブリオバトル紹介動画」といった”普及ツール”の作成をしていきました。

一方、普及委員会が動き出した裏では、サイエンスルーはビブリオバトルをイベント型として開催する試行錯誤を進めていました。最初は閉じた会議室で開催していましたが、いろんな人が参加できるようにというところから、図書館のラーニングコモンズという開かれた場所で開催したり、スチューデントコモンズという開かれたスペースで開催するようになりました。このような開催の様子を残すために、動画の撮影、編集、アップロードという作業を私が受け持っていました。

そんな中で、紀伊國屋書店の方がサイエンスルーでのビブリオバトルに参加することがありました。そしてそれがキッカケで、紀伊國屋書店本町店でのビブリオバトル開催へとつながっていきます。まだビブリオバトルが認知されていない中での開催だったので、普及委員会とも連携して様々な工夫を重ねました。ひとつの仕掛けとして過去の発表の様子をまとめた動画を用意することになり、その動画の編集を私が担当することになりました。この本町店でのビブリオバトルは「街の人通りの多いところで開かれた」「初の書店開催」となり、読売新聞にも取り上げられ、のちの首都決戦開催へのひとつの足がかりとなりました。

その後大学を卒業して就職した私は、人のつながりがリセットされたような中で「会社だけで人脈が閉じるのはイヤだ」と考えていました。そこで思い出されたがビ

ブリオバトルでした。ビブリオバトルであれば人との接点をつなぐことができる、というある程度の確信がここまでの経験で固まっていました。

そして様々な縁が重なって、天満橋ビブリオバトルと奈良県立図書情報館でのビブリオバトルの立ち上げをすることになります。広報ツールとして、ビブリオバトルのためだけのホームページや各回雰囲気を変えたフライヤーを用意して、認知されていなかったビブリオバトルに触れてもらおうと動きました。また「ビブリオバトルx○○○」という、他の試みとの重ねあわせでビブリオバトルがより楽しくなるのではという試行錯誤を周りの協力のもと進めたりもしました。特に反響が大きかったものは、浴衣でビブリオバトルするというものと、R-18 なキワドイ本を持ち寄る番外企画の「オトナのビブリオバトル」でした。

また開催を続けていると「自分でも開催してみたい」という声を聞く機会も出てきました。そして、堺市図書館や明石図書館、生駒市図書館での初開催のお手伝いで動いたりしました。

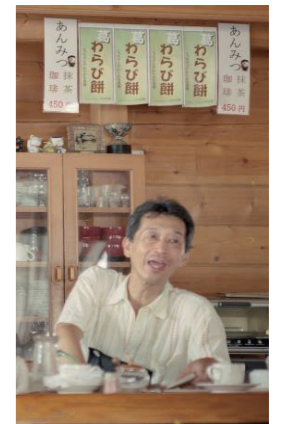
活動報告ということで振り返ってみると、様々な人が関わってビブリオバトルがここまで続いてきているんだなと思います。今後も、ビブリオバトルの楽しさ・良さを広げる活動に私も微力ながら関わっていきたいと思います。



天満橋ビブリオバトルの様子



活動報告書



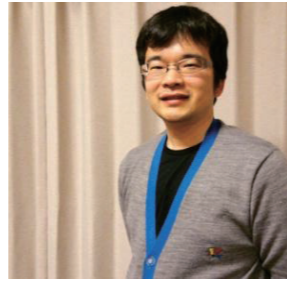
新谷 安文 ・関西地区
奈良県吉野郡吉野町檜井495-1
コーヒーショップ凡句来
0746-32-818187 e-mail : bonkura.ny@gmail.com

奈良県吉野で2013年より当店(コーヒーショップ凡句来)で、ビブリオバトル(The cafe ビブリオバトル in 凡句来)を開催している新谷です。昨年度、は2014、7月、10月・2015、1月と計3回の開催を実施し、基本的には年4回の定期開催を定着させつつあります。各開催とも、4冊~5冊の本が紹介され、参加人数は約10名程度に落ち着き、毎回初参加の方もおられますが、結構雰囲気もよく有意義な開催となって、それぞれに楽しんでもらっているかな、と感じています。地域で「ビブリオバトル部」というような組織をつくり組織的な活動はしていないので、なかなか地域への浸透は時間がかかるかとは思っていますが、参加していただいた方の口コミにより今まで開催も続けてこられました。次回開催でようやく10回目の開催を迎え、また新たな思考等を考えながらより親しみのある、カフェならではのそして、奈良・吉野のビブリオバトルと地域の皆様はじめ広く親しんでいただけるようなものに造りあげていきたいと思っております。幸い、町内の学校の先生の中にも積極参加していただいている方もおられますので今後は少しずつ学校・教育関係者のほうへと啓発し理解を深めていただく努力をしていきたいと考えてます。

また、近隣市の桜井市の桜井市立図書館でも開催のお願いなどを行い、昨年度は数回開催をしていただいております。こちらの方は図書館主催で基本的にすべてお任せをして開催をしていただいておりますが、近隣高等学校への参加依頼などをしていただき高校生を中心にまた違った雰囲気の中で世代を超えたコミュニケーションを図り交流を深めているような状況です。どちらの開催も、開催報告はブログ等において事務局のほうに発信させていただいていることと思います。一番最近の開催の報告を添付しておきます。
<http://ameblo.jp/3405644/entry-11981405197.html>

最後に今後も、微力ですが、皆様の仲間の末席において普及活動を続けていきたいと思っておりますのでよろしくご指導のほどをお願いいたします。

ビブリオバトル普及委員 2014 年度活動報告書



満田弘樹（関西地区）

hirokimitsuda@gmail.com

【年間活動概要】

職場の関西学院大学生協キャリア・書籍事業部の事業の一環として実施し、私が司会をしています。発表本はPOPなどつけて大学内書店に陳列販売しています。

日時を指定しての発表者募集では上手く集まらないため、先に発表者を募集してから、応募者の都合の合う日時で開催する流れにしています。しかし学生も忙しく、日程調整に苦労しています。

2014 年度は体調不良による休職が長かったため、自主開催 1 回、共催 1 回の計 2 回のみでした。

伊丹市立図書館「ことば蔵」のビブリオバトル部としても活動していましたが、双子の出産による育児のため、2014 年 5 月より活動を休止しました。

【2015 年度方針】

発表者の応募よりも観戦者集客が上手くいっていませんが、2015 年度も引き続き開催予定です。大学生協の書籍事業として業務時間内に行っていますが収益性はなく仕事の繁忙期には行えないため、春学期 2 回、秋学期 1～2 回程度の開催を予定しています。

また、これまで普及委員の名称を有効活用する機会はありませんでしたが、今後、ホンシェルジュ(<http://honcierge.jp/>)という書評・読書推進サイトに定期的に記事を寄稿する予定で、執筆者プロフィールに、ビブリオバトル普及委員の名称を使用予定です。

【2014 年度 開催内容】

①2014 年 5 月 29 日(木)

「第 4 回ビブリオバトル in 関学生協(<http://kgcoopbook.blogspot.jp/2014/05/in.html>)」

発表者：2 名（発表応募は 4 名あったが、日程が合うのがこの日時で 2 名のみだった）

参加者(発表者含む)：7 名

発表本；☆がチャンプ本

☆1. 宮内悠介『盤上の夜』（創元 SF 文庫）

2. 川上未映子『わたくし率、イン歯一、または世界』（講談社文庫）



©2014年10月19日(日)

「ビブリオバトル京都決戦 関西A, B地区 予選会」

(<https://www.facebook.com/kgaclibrary/photos/a.192087947644424.1073741828.190919227761296/301649566688261/?type=1&theater>)

大学公式の学生団体「関西学院大学三田キャンパス アカデミックコモンズ本棚プロジェクト Bibly」(http://www.kwansei.ac.jp/kgac/kgac_006842.html)との共催で予選会を行いました。宣伝は共同で行い、ポスター作成は学生、発表申込システムの提供・会場提供・司会を私が務めました。他大学からの参加が2名ありました。(大阪大学・甲南大学)

発表者：6名

参加者(発表者含む)：9名

発表本：☆がチャンプ本

- ☆1. 古田靖『アホウドリの糞でできた国』(アспект)
2. 桜井章一『雀鬼流。』(三五館)
3. 西角けい子『やる気0の子が全国1位になった上手なほめ方、叱り方』(PHP 研究所)
4. 森山徹『ダンゴムシに心はあるのか』(PHP 研究所)
5. 中島義道『私の嫌いな10の言葉』(新潮社)
6. 麻生香太郎『誰がJ-POPを救えるか?』(朝日新聞出版)



2014年度ビブリオバトル普及委員活動報告書

木村修平

立命館大学生命科学部生命情報学科准教授

kimuras@fc.ritsumei.ac.jp

2014年度の総括

2014年度は、立命館大学びわこ・くさつキャンパス (BKC) で開催された「くさつビブリオバトル2014@BKC」と立命館大学朱雀キャンパスで開催された「ビブリオバトル・シンポジウム2014」という2つの大きなビブリオバトル関連イベントで実行委員長をつとめた。

くさつビブリオバトル2014@BKC

くさつビブリオバトル2014@BKCは、立命館大学BKC開設20周年記念事業および草津市市制60周年連携事業の一環として2014年11月15日(土)に開催された。立命館大学BKC事務局、草津市教育委員会、立命館守山中学・高等学校の関係者らが実行委員会を組織し、後援にビブリオバトル普及委員会、滋賀県、滋賀県教育委員会を、協賛に立命館生活協同組合、大垣書店に加わっていただいた。小学生・中学生・高校生・大学生・一般の部、そして英語でビブリオバトルという6部構成で行った。大学生の部は「全国大学ビブリオバトル2014—京都決戦—」の地区決戦(関西Dブロック)として行われた。のべ250名の参加者で賑わう大会となった。



【関連情報】

「くさつビブリオバトル2014@BKC」を開催

http://www.ritsumei.jp/pickup/detail_j/topics/13163/date/11/year/2014

ビブリオバトル・シンポジウム 2014

ビブリオバトル・シンポジウムは、ビブリオバトルについての実践や研究に関する意見交換、情報交換を行う場を創設するという構想からスタートし、2014年12月13日（土）に立命館大学朱雀キャンパスで開催された。ビブリオバトル普及委員会を中心に実行委員会を組織し、後援には文部科学省をはじめ数多くの図書館、教育委員会に加わっていただいた。また、協賛にはアカデミック・リソース・ガイド株式会社、株式会社さ・え・ら書房、立命館生活協同組合、日本出版販売株式会社、株式会社紀伊國屋書店が加わって下さった。「全国大学ビブリオバトル2014—京都決戦—」の前日に据えたこともあり、シンポジウムには194名の参加者を数え、初めての試みとしてはまずまずの集客となった。終了後に回収したアンケート結果をみると次回の開催を望む声が多く、ビブリオバトルに関する知見や情報を交換する場の需要の高さを伺わせた。



「英語でビブリオバトル」活動報告



近藤雪絵（関西地区）
立命館大学 講師（英語）
kondoyu@fc.ritsumei.ac.jp

近藤雪絵は京都・滋賀で「英語でビブリオバトル」の企画・開催を中心に活動している。2014年度は9月に他大学の教員と共同し、「英語でビブリオバトル大学生大会」を実施した。11月には、「くさつビブリオバトル2014@BKC」の実行委員として、「英語部門」の実施に協力した。また、8月に2013年度の取り組みの成果と考察を、全国英語教育学会徳島研究会にて発表した。「英語でビブリオバトル」はまだ競技人口が発展途上であるため、英語話者への参加を呼びかけやすくするため、ルール説明の動画（英語）をYouTubeで公開した。

ビブリオバトル開催

名称	英語でビブリオバトル 大学生大会
日時	2014年9月6日
開催地	キャンパスプラザ京都
参加者	7名（大学生）
チャンプ本	『黒猫』（エドガー・アラン・ポー 著）
参考URL	https://www.facebook.com/events/316039131880774
備考	京都産業大学、近畿大学の教員との共同開催。

ビブリオバトル実施協力

名称	くさつビブリオバトル2014@BKC 英語部門
日時	2014年11月6日
開催地	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
参加者	5名（大学生、一般）
チャンプ本	『胡蝶の夢』（司馬遼太郎 著）
参考URL	http://www.ritsumei.jp/pickup/detail_j/topics/13163/date/11/year/2014
動画URL	https://www.youtube.com/playlist?list=PLDM7XChcNkbDLVc1guE_SIWzgtzm4QE_1
備考	実行委員として実施に協力。

口頭発表

1. 「立命館大学・京都産業大学・近畿大学合同『英語でビブリオバトル大学生大会』の実践報告」近藤雪絵, 大賀まゆみ, 全国英語教育学会, 第40回全国英語教育学会徳島研究大会, 2014年8月9日, 於 徳島大学

2. ビブリオバトル・シンポジウム2014, 2014年12月12日, 於 立命館大学 朱雀キャンパス

※ パネルディスカッション (学校教育)、ポスター発表に参加。

その他

「英語でビブリオバトル」ルール説明の動画作成・公開



http://youtu.be/_Vje3a7b8xY

メッセージ

「英語でビブリオバトル」の仲間を募集中です！

ビブリオバトルの楽しみ

川西 香子 (関西地区)

toko.ohanashi@gmail.com

奈良県橿原市にて活動をしています。

橿原ビブリオバトル部に所属し、部の立ち上げから関わってきました。現在、部の代表をしています。月に一度、基本的には第一日曜日に、午前中は読書会、午後はビブリオバトル、といった形で活動しています。徐々にメンバーも増え、仲間とともに和気あいあいと楽しんでいます。読書会はメンバーからの提案で始めました。ビブリオバトル部の読書会なので、特色を持たせるため、ビブリオバトルでチャンプになった本を対象にしています。また、橿原市立図書館や三洋堂書店橿原神宮店のみなさまとも一緒に活動しています。

ビブリオバトルを通して年齢や職業をこえたつながりができ、回を重ねるたびに、新しい発見や驚きがあります。また、メンバーそれぞれのつながりから、さらに仲間の輪が広がっています。これからも、本を通してたくさんの人と出会っていけたら嬉しいです。そして、この楽しみをたくさんの方々に伝えていきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【2014度 橿原ビブリオバトル部 活動報告】

2014年 5月3日 読書会 vol.1 米原万里「嘘つきアーニャの真っ赤な真実」

ビブリオバトル#3 テーマ「こども」2部制

6月1日 読書会 vol.2 ジェームズ・クラベル「23分間の奇跡」

三洋堂書店橿原神宮店 vol.9 テーマ「紫」2部制

7月6日 部会読書会 vol.3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」

ビブリオバトル#4 テーマ「星」2部制

8月3日 三洋堂書店橿原神宮店 vol.10 テーマ「ホラー」

9月7日 第一回いちにちまるごと札の辻！

午前 読書会 vol.4 サン・テグジュペリ「夜間飛行」

午後 ビブリオバトル#5 テーマ「逢瀬」2部制

10月5日 読書会 vol.5 梨木香歩「西の魔女が死んだ」

三洋堂書店橿原神宮店 vol.11 テーマ「行楽」

11月3日 第2回橿原市立図書館ビブリオバトル テーマ「秋」

12月7日 読書会 vol.6 三浦しをん「風が強く吹いている」

三洋堂書店橿原神宮店 vol.12 テーマ「プレゼント」

2015年 2月1日 部会読書会 vol.7 灰谷健次郎「太陽の子」

三洋堂書店橿原神宮店 vol.13 テーマ「鬼」

3月1日 第2回いちにちまるごと札の辻！

午前 読書会 vol.8 川端康成「伊豆の踊子」
午後 ビブリオバトル#6 3部制 ジャンルしぼり
ジャンル「文豪」
ジャンル「ライトノベル」
ジャンル「ノンフィクション」

榎原ビブリオバトル部の活動の様子は、Facebook およびホームページにてご覧いただけます。

Facebook <http://www.facebook.com/kashihara.biblio>
ホームページ <http://kashiharabiblio.jimdo.com/>
連絡先 kashihara.biblio@gmail.com



ビブリオバトル普及委員活動報告書

明石 友貴 (関西地区)



ホームページ <http://ikomabiblio.jimdo.com/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/ikomabiblio>
ツイッター @ikomabiblioclub
ブックログ <http://booklog.jp/users/ikomabiblio>

【活動の概要】 ビブリオバトル普及委員としての各種活動を行った。

1) 主催者としての活動

生駒ビブリオ倶楽部員として定期的開催
奈良県立図書情報館ビブリオバトル部員として定期的開催
榎原ビブリオバトル部の顧問として活動 等

2) 発表者としての活動

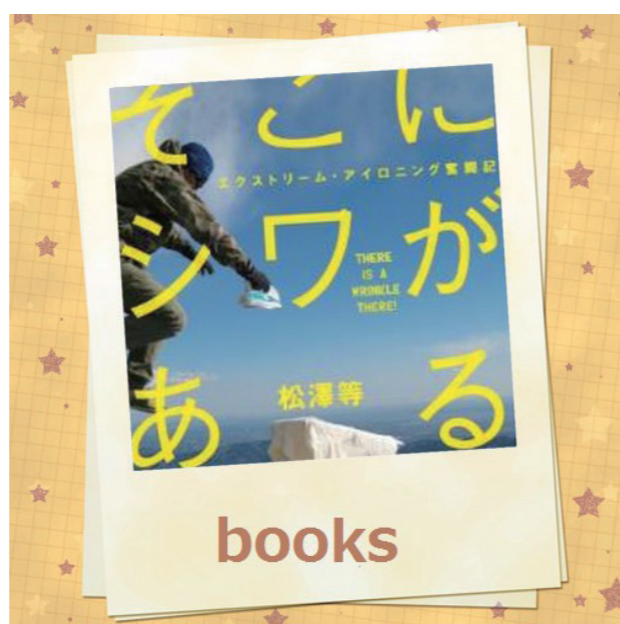
天満橋ビブリオバトル、紀伊國屋書店ビブリオバトルで発表 等

3) 観戦者としての活動

天満橋ビブリオバトル、ビブリオバトルふしみ 等

4) その他の活動

ビブリオバトル春のワークショップで事例発表
ビブリオバトル体験講習会の開催
ビブリオバトルシンポジウムでポスター発表、司会 等



2014年		内容
発		1月13日 ビブリオバトルin立誠
発		1月16日 天満橋ビブリオバトル遠征回#39 inグランフロント大阪ナレッジサロン
発		1月25日 ウィンター・スター・フェスティバル@明石市立西武市民会館
主	観	1月26日 第13回ビブリオバトルinいこま テーマ「和」
	観	2月1日 ビブリオバトル@紀伊國屋書店新宿南店 第1ゲーム
発		2月1日 ビブリオバトル@紀伊國屋書店新宿南店 第2ゲーム
	観	2月1日 ビブリオバトル@紀伊國屋書店新宿南店 第3ゲーム
主	発	2月2日 第1回ビブリオバトルinなわて テーマ「大人も楽しい!子どもの本」
	観	2月19日 天満橋ビブリオバトル #40in谷町空庭
	観	2月22日 ビブリオバトルin紀伊國屋書店グランフロント大阪店 第1ゲーム
発		2月22日 ビブリオバトルin紀伊國屋書店グランフロント大阪店 第2ゲーム
	観	3月9日 第2回「ビブリオバトル in ゆいぴあ」
主	観	3月15日 第39回奈良県立図書情報館ビブリオバトル
発		3月16日 第9回伊丹市立図書館ことば蔵ビブリオバトル
発		3月19日 天満橋ビブリオバトル#41 in グランフロント大阪ナレッジサロン
発		3月22日 第2回ビブリオバトル@三田市立図書館
主	観	3月23日 ビブリオバトル関西大会inいこま
	観	3月29日 第3回ビブリオバトルin伏見 第1ゲーム
発		3月29日 第3回ビブリオバトルin伏見 第2ゲーム
発		4月6日 和東茶カフェ at 運潮寺
	観	4月16日 天満橋ビブリオバトル#42 in なんばまちライブラリー
主	発	4月19日 第40回奈良県立図書情報館ビブリオバトル
	観	4月20日 ビブリオバトル in さかい #15

2014年		内 容
主	発	4月27日 第14回ビブリオバトルinいこま テーマ「応援」
主	発	5月4日 ビブリオバトル@アースデイ神戸2014
	発	5月10日 ビブリオバトル@紀伊国屋書店グランフロント大阪店 ゲーム
主	観	5月18日 第15回ビブリオバトルinいこま テーマ「出会い」@ 駅前図書室
	発	6月14日 ビブリオバトル春のワークショップ2014
	他	6月15日 ビブリオバトル春のワークショップ2014
	発	6月18日 天満橋ビブリオバトル#44 in グランフロント大阪北 レジキャピタル
主	観	6月22日 第16回ビブリオバトルinいこま テーマ「犬。猫。」
主	発	7月6日 榎原ビブリオバトル #4 @榎原ナビプラザ
	発	7月12日 第7回ビブリオバトルin伏見
	発	7月12日 ビブリオバトルinいながわ (atカフェ・プーランク)
	発	7月16日 天満橋ビブリオバトル #45 in 大阪市中央公会堂
主	観	7月19日 第43回奈良県立図書館ビブリオバトル
	発	7月25日 ビブリオバトル体験講座
主		7月27日 第17回ビブリオバトルinいこま「海・山」
主	観	8月19日 暁天ビブリオバトル feat. 大安寺 (第44回奈良県立 報館ビブリオバトル)
	発	8月20日 天満橋ビブリオバトル夏休みスペシャル #46 in 谷町
	発	8月20日 R-18 オトナのビブリオバトル
主	発	8月24日 第18回ビブリオバトルinいこま「祭り」
	発	9月13日 第2回「知的書評合戦ビブリオバトル 一般の部」@ 市立中央図書館
	発	9月17日 天満橋ビブリオバトル #47 @北浜Links
主	発	9月20日 第46回奈良県立図書館ビブリオバトル

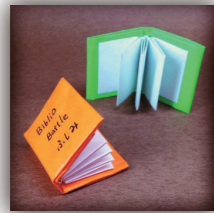
2014年		内 容
主	発	9月23日 読まなきゃ！2014@神戸市勤労会館
	発	9月28日 第19回ビブリオバトルinいこま「友」
主	観	10月5日 ビブリオバトルvol.11 in 三洋堂書店榎原神宮店
	発	10月12日 <戦国ビブリオバトル> @伊丹市立図書館ことば蔵
主	発	10月18日 第47回奈良県立図書館ビブリオバトル
主	観	10月19日 大学生大会京都決戦2014の生駒地区予選
主	観	10月19日 第20回ビブリオバトルinいこま「顔」
	発	10月25日 スイッチ読書会@JamesTaylorイオンモール和歌山店
主	発	11月2日 和東ビブリオバトル#4 in茶源郷まつり
	発	11月3日 第2回ビブリオバトル-知的書評合戦-@榎原市立図
	発	11月12日 天満橋ビブリオバトル#49 紀伊国屋書店グランフ 大阪店
主	発	11月15日 第48回奈良県立図書館ビブリオバトル
	観	11月22日 第1回ビブリオバトルin大和郡山@ジャパンプックス
	他	11月29日 第一回八尾図書館ビブリオバトル
主	観	11月30日 大学生大会京都決戦2014の奈良地区決戦
主	観	11月30日 第21回ビブリオバトルinいこま「味」
	他	12月14日 ビブリオバトルシンポジウム2014
	発	12月17日 天満橋ビブリオバトル第50回@心齋橋 Afu
主	発	12月20日 第48回奈良県立図書館ビブリオバトル
主	発	12月21日 第22回ビブリオバトルinいこま「今年1番わたしの め」
	発	12月29日 ビブリオバトルin紀伊国屋書店新宿南店/年末恒例! れ☆オールスター2014

ビブリオバトル普及委員

2014年度活動報告

益井 博史 (関西地区)

ビブリオバトルふしみ 代表



アイコンは代表が
折り紙好きだから

ビブリオバトルふしみ

月に一度京都伏見のどこかでビブリオバトルを開催。

設立：2013年9月

開催回数：のべ15回

メンバー：19名 (2015年3月14日現在)

FB：<https://www.facebook.com/bibliobattle.fushimi>

Twitter：@BiblioB_Fushimi

Mail：bibliobattle_fushimi@yahoo.co.jp

実施活動

※自身の他団体への出場・観戦の開催は除く



2013年9月

ビブリオバトルふしみ立ち上げ

開催

2014年4月

4/20(日)
第4回ビブリオバトルin伏見



場所：伏見青少年活動センター
テーマ：ふえる
バトル：4名
観戦者：6名



開催

5/18(日)
第5回ビブリオバトルin伏見



場所：伏見青少年活動センター
テーマ：自然
バトル：5名
観戦者：20名



5月

開催

6/14(土)
第6回ビブリオバトルin伏見



場所：「劇団京芸」稽古場
テーマ：淀・納所
バトル：6名
観戦者：8名



まちづくり会社「びあびあ」のまち歩き企画とコラボ

メディア

6/2(月)
FM845
“ワカバンneo” 出演



メディア

6/15(日)
京都新聞朝刊市民版



開催

7/12(土)
第7回ビブリオバトルin伏見



場所：伏見青少年活動センター
テーマ：△
バトル：5名
観戦者：12名



講演

7/18(金)
第218回 京都情報図書館学学習会



開催

8/24(日)
第8回ビブリオバトルin伏見



場所：ふかふか家
テーマ：ちびっこ
バトル：5名
観戦者：10名




WS

8/20(水)
京都市まちづくりアドバイザー
ミーティング





9月


メディア

9/19(金) リビング京都
本が生み出す“人とのつながり”



開催

9/20(土) 第9回ビブリオバトルin伏見
場所：龍谷大学深草町家キャンパス
テーマ：あの頃
バトラー：5名
観戦者：10名
1周年


第2部では本のプレゼント交換会も。


メディア

9/20(土) 京都新聞夕刊
「土曜フォーカス2014」


メディア




9/25(木) J:COMチャンネル
「関西TODAY」


メディア

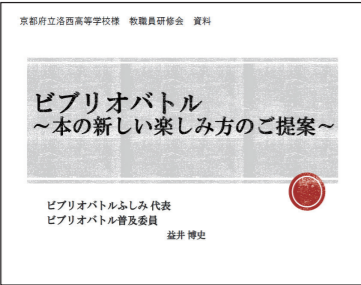
9/30(火) KBS京都ラジオ
「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」
“嘶の朝ごはん” コーナー出演


開催

10月

10/25(土) 第10回ビブリオバトルin伏見
場所：伏見青少年活動センター
第1部「京都決戦関西Cブロック予選会」
バトラー：5名
観戦者：7名
BIBLIO BATTLE


第2部「いつものビブリオバトル」
テーマ：実り
バトラー：5名
観戦者：8名


講演

11/12(木) 洛西高等学校教職員研修


11月

開催

11/23(日) 第11回ビブリオバトルin伏見
場所：伏見青少年活動センター
第1部「京都決戦関西Cブロック地区決戦」
バトラー：4名
観戦者：25名
ビブリオバトル



開催

第2部「ビブリオバトル with 桃レシピコンテスト」
テーマ：桃
バトラー：5名
観戦者：10名
チャンプ本を獲得すると、桃レシピコンテスト受賞作品が食べられる特典付き。


運営補助

12/14(日) 全国大会ビブリオバトル2014
～京都決戦～

準決勝⑤司会

開催

1/24(土) 第13回ビブリオバトルin伏見
場所：伏見青少年活動センター
テーマ：初
バトラー：6名
観戦者：5名


メディア

12/1(月) 京都伏見の魅力発信！
『UTTOCO』Web版

益井 博史

講演

12/4(木) 和高教学校司書部研究会


パネラー

12/13(土) ビブリオバトル・シンポジウム2014
パネルディスカッション③図書館

事例紹介
「図書館利用者としてのビブリオバトル」

開催

12/19(金) 第12回ビブリオバトルin伏見
場所：ぴあびあ
テーマ：2014年
バトラー：5名
観戦者：10名

「ポットラック忘年会」

2015年1月

活動報告書

池内 祥見 (関西地区)
ikeuchi[at]arch.eng.osaka-u.ac.jp
([at])を@に変更ください



●基本的な活動

大阪の天満橋を中心に活動をしている「天満橋ビブリオバトル」を2010年11月より開始し、毎月開催して2015年3月で53回を数えます。主催は関西地区の地区代表である吉野と、(副)地区代表の中津と私の3名で行っています。

天満橋ビブリオバトルは、「大人の社交場」、「大阪市内で楽しむ紳士・淑女による社会人サークル」を標榜し、毎月第3種曜日19時半スタートを基本として活動しています。社会人を中心に、学生から年配の方まで毎回幅広い世代の方にご参加いただいております。

2013年後半からは元の開催場所だった天満橋の飲食店を離れ、グランフロント大阪や大阪府立大学のサテライトキャンパス内など、開催場所を転々としながら、大阪市内の複数の場所においてビブリオバトルを開催しております。私は主に開催場所の手配・交渉、ならびに当日の実施(たまに司会)・運営を行っています。

- ・天満橋ビブリオバトルのHP(facebook ページ) <https://www.facebook.com/bibliobattle>
※詳細、開催風景等はHPをご覧ください。

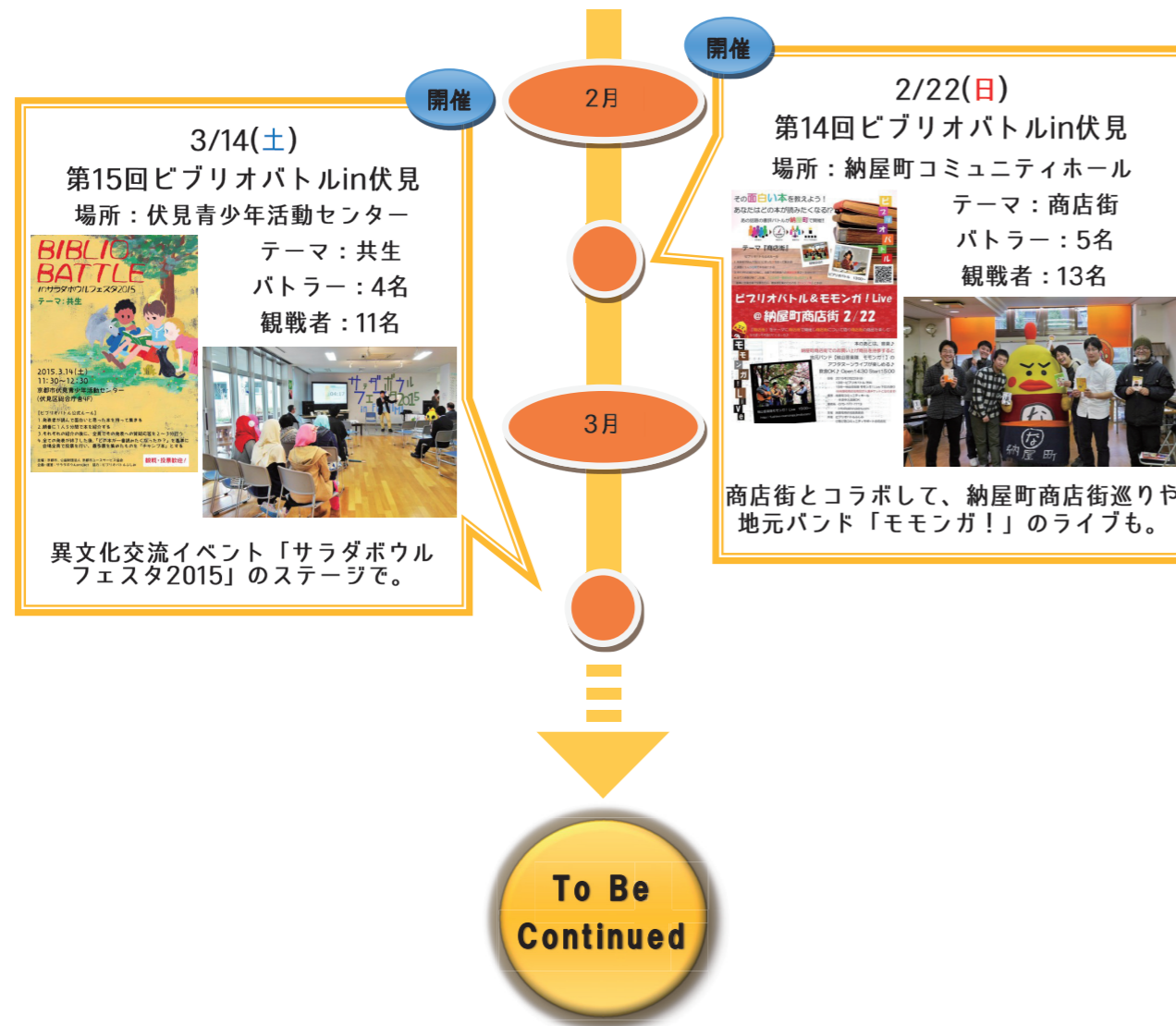
●その他周辺の活動

天満橋ビブリオバトルは、関西周辺でビブリオバトルを新しく始められる際の相談・サポート窓口として機能している面もあります。開催を考えておられる主催者の方や図書館の司書さんが天満橋ビブリオバトルに参加されて運営の参考にしていただくこともあります。過去には伊丹ことば蔵、堺市立図書館、西宮市立北口図書館などの立ち上げのお手伝いに関わり、発表者を務めさせていただいたりしています。

昨年11月には天満橋ビブリオバトルに普段参加いただいている方の活動から発展して、八尾図書館での第一回ビブリオバトルが行われました。この時も発表者の調整役などで簡単なお手伝いさせていただきました。

その他、時々になりますが、奈良県立図書館情報館のビブリオバトルへ部員として参加したり、水都大阪や地域のお祭りなど毎月の通常実施とは異なる形でのイベントの実施や他団体との連携なども行っており、その辺りの交渉・調整も担当しております。

主催者の方や図書館関係の方で、新規開催を検討されていてお困りの場合はお気軽にご相談ください。開催場所についての提案(「ここでやって欲しい!」)も喜んで受け付けます。



2014年度活動報告

開催回数：12回 (WSは除く)	開催会場数：6か所
総ゲーム数：14回 (WSは除く)	講演回数：4回 (シンポジウム含む)
総バトラー数：のべ69人	メディアで取り上げられた数：7回
総観戦者数：のべ147人	新しく出会った本と人：数え切れず

ご覧いただきありがとうございました。

ビブふし製

♪チャンプのしおり、→



37歳のおっさん、ビブリオバトルで友達ができました。

江上 昇（関西地区）
連絡先：facebook「江上昇」
団 体：「夜カツ」

(URL) <https://www.facebook.com/amagasaki.yorukatsu>



尼崎市でビブリオバトルに取り組んでいる江上です。
職場の若手職員が集まる勉強会「夜カツ」にて、毎回テーマを替えて様々なイベントを実施してきたのですが、試しにビブリオバトルをやってみたらとんでもなく盛り上がり、見事にハマってしまって、現在に至ります。

始めは仲間内で楽しんでやっていただけだったのが、そのうち図書館やショッピングモールで、公開で開催するようになり、昨年12月には、教育委員会の協力を得て、地元のNPOと共催で実施するまでになりました。

ある会をご覧になられた市の教育委員さんと意気投合し、今は、尼崎市内の各学校での導入を目指し、活動を続けています。

取り組んでいて感じるのは、本当に「本を通して人を知る」ことができるということ。その人の価値観や生き様を、ビブリオバトルを通じて知ること、「同じ会社で一緒に勉強している人たち」という距離感だったメンバー達のことが、なんだかずっと昔からの知り合いのように思えてきて、今では「仲間」とか「戦友」みたいに感じています。一緒にバカな企画をやったり、合宿したり、そんなことができる新しい友達が、この年齢で得られるとは、なんて幸せな人生なのだろう、と思ったりしていますが、少々大げさでしょうか。

また、かつては読書の虫で、大学も文学部に進んだのですが、働き出してから多忙にかまけて、ひどい年には、年に10冊も読まないときも。それがビブリオバトルに出会ってからは、「みんなに紹介したい本を開拓しよう」というよこしまな気持ちもあり、暇を見つけては多ジャンルの本を手取るようになりました。その中で、自分の人生に大きな影響をもたらしたり、感動とモチベーションを与えてくれる本に出会ったり、新たな喜びを見つけ出しています。ビブリオバトルがなければそれらの本に出会わなかったか、それとも人生のもっと後で会うことになったかもしれない、と思い、本当にビブリオバトルとの出会いに感謝しています。

〈開催実績〉

第8回「夜カツ！ビブリオバトル in AKカフェ」
テーマ「神さま」 2014年5月12日

第9回「夜カツ！ビブリオバトル in 教育総合センター」
テーマ「闇」 2014年6月30日

第10回「夜カツ！ビブリオバトル in あまがさきキューズモール」
テーマ「夏休み」 2014年7月20日

第11回「夜カツ！ビブリオバトル in AKカフェ」
テーマ「漫画ビブリオ」 2014年9月25日

第12回「夜カツ！ビブリオバトル in 教育総合センター」
テーマ「欲」 2014年10月6日

「みんなでビブリオバトル in ピッコロシアター」 2014年12月20日
第1部「お母さんビブリオ」
テーマ「子どもにも読んで欲しい本」

第2部「夜カツ！ビブリオバトル年間チャンピオン大会」
テーマ「今年一番読んで欲しい本」

ビブリオバトル活動報告書

志賀 さな恵（関西地区）



「本は読まない。時間もないし…漫画の方が気楽。」

この手のコメントは私の周りでよく聞かれるセリフで、確かに仕事や読書以外の趣味を謳歌している人には読書の時間というのは少し手間のかかる行為だと思います。私自身は、というと、「本は読むけど、話題書ばかり。しかも恒常的に読むというよりは『活字が読みたい！！』という欲求が生まれた時にしか読まない。」という正直このビブリオバトル普及委員を名乗って良いものか首をひねる人間です。ただ、欲求に突き動かされて本を読み始めるので、読み始めるときには無駄にテンションが高く、読後は小説であれば物語の続きを妄想し、自己啓発本であれば今の自分を振り返る。ノンフィクションの場合は胸を痛めたり、自分に置き換えて号泣する…と傍から見たら騒がしい読者です。でも、冒頭のセリフをよく耳にする私としては、急に「昨日読んだ本がね、」と話し始めてもあまり話が進むとは言えません。「読書」というものは孤独に楽しむ趣味でありました。

そんな中ビブリオバトルと出会いました。そこから「読書」という行為が単に一人で楽しむものではなく、みんなで楽しめるものになりました。

元々私は職場の自主研修グループに所属しており、「新しいものを面白く」をモットーに活動しています。ビブリオバトルもメンバーの一人が「面白そうだからやってみよう」というところから始まりました。グループの所属メンバーは前向きで一生懸命な人たちですが、「読書は全くしない。」という人も半分くらいいました。嫌がるメンバーも無理やり参加させた第一回目。テーマは「ほかのメンバーにおすすめしたい本」という、あまり本を限定しないようにしました。

色んな本に、色んなプレゼン。それぞれのメンバーの個性が浮き彫りになり、今まで知らない一面も垣間見ることが出来ました。また、2～3分のディスカッションタイムは緊張であり質問が生まれませんが、終わった後の飲み会では感想の言い合いで大盛り上がり。「その本貸して！」という声も聞こえてきました。

それからというもの、グループ内だけに留まらず、ほかの職員にも声をかけ、多いときは10名ほどの発表者の中で開催しました。出場者は回数を重ねるごとに発表内容が深くなり、勝負本も書店で平積みされている本よりもコアはジャンルが増えてきています。みんな、勝負、となると色々考えて来るのもすごく面白いです。（もちろん、「オススメ本」を用意する、という大原則は曲げていません。）

「ビブリオバトルは面白い。もっと広めたい。」と思ってからは、様々な方の協力を経て、大型ショッピングモール「キューズモール尼崎」の中で開催しました。出場者はお客さんが買い物されている横で5分間公开发表する、というなかなか度胸のいることをやったのけました。私も発表したのですが、なかなか恥ずかしいものです。人の足を止めることはとても難しかったです。数名が座り込んで聞いてくださり、また終わった後詳しくビブリオバトルについて聞いてくださる方もいらっしゃいました。配布したチラシもきちんと持って帰ってくださったようでした。

その後は、ビブリオバトルについて関心を持ったNPOの方々が「子どもの読書離れ対策に良いのではないか。」ということで、子ども向けのイベントを共同で企画しました。ただ、企画時間が思うように取れなかったため、子ども向け、というよりは小学生のお子さんを持つお母さんと一緒に開催させていただきました。お母さん方はビブリオバトルというものは知らなかったようですが、5分間、しっかり話をしてくださり、初心者とは思えない発表をしていただき、観覧に来られていたお母さん方もとても感心しておられました。また、「次はもっと練習してきます！」と次を楽しみにしてくださる感想もいただきました。

今後は職場内で開催することは続けつつ、子どもたちだけの開催を夏に予定しております。まだまだ子どもたちの普及には時間がかかりますが、少しずつ進めていけたらと思っています。そして、読書のまた新たな楽しみ方も多くの人に知って欲しいと思っています。